

※実施内容については、要綱別紙2「介護職員初任者研修における目標、評価の指針」を網羅すること。

研修カリキュラム（要綱別紙1）		実施計画					
講義・演習（実習）		カリキュラム名・時間数				実施内容（別紙参照）	
1 職務の理解	6時間	時間数	うち通学	うち通信	1 職務の理解		
(1) 多様なサービスの理解		2.5	2.5		(1)		
(2) 介護職の仕事内容や働く現場の理解		3.5	3.5		(2)		
2 介護における尊厳の保持・自立支援	9時間	時間数	うち通学	うち通信	2 介護における尊厳の保持・自立支援		
(1) 人権と尊厳を支える介護		5	5		(1)		
(2) 自立に向けた介護		4	4		(2)		
3 介護の基本	6時間	時間数	うち通学	うち通信	3 介護の基本		
(1) 介護職の役割、専門性と多職種との連携		2	2		(1)		
(2) 介護職の職業倫理		1	1		(2)		
(3) 介護における安全の確保とリスクマネジメント		2	2		(3)		
(4) 介護職の安全		1	1		(4)		
4 介護・福祉サービスの理解と医療との連携	9時間	時間数	うち通学	うち通信	4 介護・福祉サービスの理解と医療との連携		
(1) 介護保険制度		2.5	2.5		(1)		
(2) 障害者総合支援制度及びその他の制度		2.5	2.5		(2)		
(3) 医療との連携とリハビリテーション		4	4		(3)		

第1-2号様式	
5 介護におけるコミュニケーション技術	6時間
(1) 介護におけるコミュニケーション	
(2) 介護におけるチームのコミュニケーション	
6 老化の理解	6時間
(1) 老化に伴うこころとからだの変化と日常	
(2) 高齢者と健康	
7 認知症の理解	6時間
(1) 認知症を取り巻く状況	
(2) 医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理	
(3) 認知症に伴うこころとからだの変化と日常生活	
(4) 家族への支援	
8 障がいの理解	3時間
(1) 障害の基礎的理解	
(2) 障害の医学的側面、生活障害、心理・行動の特徴、かかわり支援等の基礎的知識	
(3) 家族の心理、かかわり支援の理解	

5 介護におけるコミュニケーション技術	6時間	時間数	うち通学	うち通信	5 介護におけるコミュニケーション技術
(1) 介護におけるコミュニケーション		2.5	2.5		(1)
(2) 介護におけるチームのコミュニケーション		3.5	3.5		(2)
6 老化の理解	6時間	時間数	うち通学	うち通信	6 老化の理解
(1) 老化に伴うこころとからだの変化と日常		2	2		(1)
(2) 高齢者と健康		4	4		(2)
7 認知症の理解	6時間	時間数	うち通学	うち通信	7 認知症の理解
(1) 認知症を取り巻く状況		0.5	0.5		(1)
(2) 医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理		2	2		(2)
(3) 認知症に伴うこころとからだの変化と日常生活		3	3		(3)
(4) 家族への支援		0.5	0.5		(4)
8 障がいの理解	3時間	時間数	うち通学	うち通信	8 障害の理解
(1) 障害の基礎的理解		0.5	0.5		(1)
(2) 障害の医学的側面、生活障害、心理・行動の特徴、かかわり支援等の基礎的知識		2	2		(2)
(3) 家族の心理、かかわり支援の理解		0.5	0.5		(3)

第1-2号様式	
9 ころとからだのしくみと生活支援技術 75時間	
ア 基本知識の学習	10~13時間
(1) 介護の基本的な考え方	
(2) 介護に関するころのしくみの基礎的理解	
(3) 介護に関するからだのしくみの基礎的理解	
イ 生活支援技術の講義・演習	50~55時間
(4) 生活と家事	
(5) 快適な居住環境整備と介護	
(6) 整容に関連したころとからだのしくみと自立に向けた介護	
(7) 移動・移乗に関連したころとからだのしくみと自立に向けた介護	
(8) 食事に関連したころとからだのしくみと自立に向けた介護	
(9) 入浴、清潔保持に関連したころとからだのしくみと自立に向けた介護	
(10) 排泄に関連したころとからだのしくみと自立に向けた介護	
(11) 睡眠に関したころとからだのしくみと自立に向けた介護	
(12) 死にゆく人に関したころとからだのしくみと終末期介護	
ウ 生活支援技術演習	10~12時間
(13) 介護過程の基礎的理解	
(14) 総合生活支援技術演習	

9 ころとからだのしくみと生活支援技術 75時間		時間数	うち通学	うち通信
ア 基本知識の学習	10時間			
(1) 介護の基本的な考え方		1	1	
(2) 介護に関するころのしくみの基礎的理解		3	3	
(3) 介護に関するからだのしくみの基礎的理解		6	6	
イ 生活支援技術の講義・演習	55時間			
(4) 生活と家事		4	4	
(5) 快適な居住環境整備と介護		4	4	
(6) 整容に関連したころとからだのしくみと自立に向けた介護		8	8	
(7) 移動・移乗に関連したころとからだのしくみと自立に向けた介護		8	8	
(8) 食事に関連したころとからだのしくみと自立に向けた介護		7	7	
(9) 入浴、清潔保持に関連したころとからだのしくみと自立に向けた介護		8	8	
(10) 排泄に関連したころとからだのしくみと自立に向けた介護		8	8	
(11) 睡眠に関したころとからだのしくみと自立に向けた介護		4	4	
(12) 死にゆく人に関したころとからだのしくみと終末期介護		4	4	
ウ 生活支援技術演習	10時間			
(13) 介護過程の基礎的理解		4	4	
(14) 総合生活支援技術演習		6	6	

9 ころとからだのしくみと生活支援技術	
ア 基本知識の学習	
(1)	
(2)	
(3)	
イ 生活支援技術の講義・演習	
(4)	
(5)	
(6)	
(7)	
(8)	
(9)	
(10)	
(11)	
(12)	
ウ 生活支援技術演習	
(13)	
(14)	

第1-2号様式		4時間
10 振り返り		
(1) 振り返り		
(2) 就業への備えと研修修了後における継続的な研修		
追加カリキュラム		
計		(130 時間)

10 振り返り	4時間	時間数	うち通 学	うち通 信	10 振り返り
(1) 振り返り		2	2		(1)
(2) 就業への備えと研修修了後における継続的な研修		2	2		(2)
追加カリキュラム					
計		(139 時間)	130	130	

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。
- ※ 各項目について、通学時間数を0にすることはできない。なお、通信時間数については別紙3に定める時間以内とする。
- ※ 時間配分の下限は、30分単位とする。
- ※ 項目ごとに時間数を設定すること。
- ※ 実施内容には、講義内容、演習の実施方法、通信学習課題の概要等を記載すること。（別紙でも可）
- ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。